

5月号 尼崎市立大成中学校 平成24年4月27日



大成中だより

634名でスタート！

今年度、206名の新1年生を迎え、全校生徒数634名でスタートをして早一ヶ月が終わろうとしています。

4月12日(木)1校時に、前日の雨天と打って変わって澄み渡った清々しい青空の下で、新入生を全校生徒で歓迎する「対面式」がありました。

まずは吹奏楽部のバックミュージックで新入生が入場し、生徒会役員の歓迎の言葉で開始されました。初めて2、3年生の先輩達の前に姿を現すためか、幾分か緊張しているようでした。その後、吹奏楽部の息のあった生演奏を聴き、その迫力に少し圧倒されていたようでした。そして、生徒会企画の「レッツ・メイク・フレンズ」というゲームをしました。生徒会役員がいろいろな人数構成の書いてある紙をくじ箱から取り出し、その人数で集まるというゲームです。例えば、「男子2人、女子2人、先生1人」や「3年3人、2年2人、1年3人」という風にグルーピングをしていくゲームです。その後グルーピングができなかった1年生にインタビューをするという運びでした。生徒会の創意工夫ある企画に大いに盛り上がった対面式でした。



ー朝礼の話(4月16日)よりー

……今日から1年生が朝会に参加しています。今年度初めての朝会です。これで全校生635名がそろいました。始めに、7年前の4月25日、皆さんもよく知っていることと思いますが、本校東側のJR福知山線で脱線事故がありました。107名の方が亡くなられ、562名の方がけがをされました。事故の知らせを受けて駆けつけ、大変な事故に胸が締め付けられた覚えがあります。また、昨年、3月11日に東日本大震災があり、1万9000人の方が亡くなったり、行方不明になられたりしています。事故や自然災害が怖いのは、一瞬にして人の貴い命が亡くなり、人生が奪われてしまうことです。本人の悔しさはもとより、家族の悔しさ、悲しさは想像を絶します。亡くなられた方々のご冥福をお祈りして黙祷をしたいと思います。合図とともに少し下を向いて黙祷をしましょう。

今日はうれしい話を2つします。

一つ目です。始業式の時に感じたことです。2年生と3年生の聞く態度がとてもよかったことに感心しました。では1年生はどうかと思っていましたが、入学式や対面式で安心しました。2、3年生に負けないうくらいに聞く態度がいいです。つまり大成中生徒全体が聞く態度がよいということです。嬉しいことです。

二つ目です。朝門に立っていると、ほぼ全員が挨拶をしていることです。そして名札もほぼ全員の生徒がつけています。これにも感心しました。小学校は負けているかもしれません。挨拶ができる人はほとんど全て自分を振り返って反省し、謝ることができる人です。これからも当たり前のことを当たり前になる人になってほしいと思います。

これから少しずつ暖かくなってきます。もっともっと過ごしやすくなってきます。先生方も精一杯に取り組んでいきますので、皆さんも日々の学習や部活動等、目標を持ってあきらめずにコツコツと取り組みましょう。よい結果となって必ず現れます。努力はその人を決して裏切りません。

その後の生徒集会では、生徒会より全校生に向けて集合時等の規律など、大成中生としての自覚やあるべき姿について、強いインパクトを持った話があり、しっかりとアピールができました。その間、最後まで話を聞き入っている全校生の姿勢に感心しました。

ー楽しかった修学旅行ー

4月19日(木)から2泊3日の修学旅行に行ってきました。行き先は長野県の志賀高原、横手山スキー場です。道中のバス車内では、どのクラスもお楽しみ係が中心となり、ゲームなどで盛り上げてくれたことと思います。また、2日間のレクリエーション大会では、実行委員会やお楽しみ係が中心となり、手品やダンス、先生方の歌やダンス、怖い話などの出し物もあり、大いに盛り上がったレクリエーションになりました。大広間全体が笑いの渦に巻き込まれていたようでした。

スキー実習では各組6班、計30班に分けてインストラクターの指導を受けながらスキー体験をしました。初めは少ししか進まなかった子ども達も、日ごとに上達し、最終日には横手山の頂上から滑りながら下りていた班もあり驚きました。さすが子ども達は習熟が早いです。とても貴重な体験をした、思い出深い修学旅行になったことと思います。自分も頂上に行きました。雲海や山々などの絶景に心を洗われるような感動を覚えしました。それも束の間、25年ぶりのスキーに頂上へ行ったのを後悔しました。まだ足の痛さが残っています。

2泊3日の修学旅行に付き添って、実行委員会を中心とした概ね規律が守られたすばらしい修学旅行だと感じました。帰校後の解散式でも話しましたが、3年生の皆さんは、この修学旅行の準備をした先生達や実行委員会の人たちに感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。そして、修学旅行をステップにして体育大会や合唱コンクール、そして卒業式のゴールを目指して精一杯に取り組んでほしいと思います。

ー「命の授業」の取り組みー

4月の20日(金)に1、2年生の全学級で、事故の記憶を語り継ぎ、命の大切さを学ぶ授業に取り組みました。1年生は事故の様子や、当時の在校生が「私たちに何かできないか」と話し合ったクラスがあったことを伝え、子ども達に問いかけました。また2年生は、1両目で負傷した伊丹市職員である山下亮輔さんの著書から、苦しみを背負いながらも強く生きることを学びました。

ー参観・懇談(4月27日)有難うございましたー

今年度初めての参観・懇談に、保護者や地域の皆様にご来校いただきまして有難うございました。少し緊張した中でも一生懸命に取り組んでいたように思います。また、5月22日(火)～5月26日(土)にオープンスクールがあり、最終日の26日(土)にはPTA総会があります。たくさんの保護者や地域の方々のご参加をお待ちしております。

(清 昌司)

以前読んだ小冊子で、神奈川県北鎌倉に注文してから8年半も待つパン屋さんがあって知り、びっくりしたことがあります。とても印象深い話でしたので紹介します。

そのお店は多以良泉己(たいらみずき)さんご夫婦が営んでいるパン工房です。元々多以良さんは小さい頃からの夢であった競輪の選手でした。その選手生活5年目の時に、最終コーナーを先頭で通過しゴールを目の前にした瞬間、後続で落車した選手の車輪が多以良さんの自転車の後輪にぶつかりました。バランスを崩した多以良さんは自転車ごと空中を一回転して頭からバンクに叩きつけられ、脳と頸椎を損傷しました。下された診断は中心性頸椎損傷。アスリートにとって絶望的なものでした。

命は取り留めたとしても、寝たきりになる可能性が大いことを宣告された多以良さんが奇跡的に回復するまでには、事故の5ヶ月前に入籍した妻の総子さんと歩んだ力強い時間がありました。突然に襲った事故の直後、ベッドに横たわる多以良さんには意識も皮膚感覚もなく、総子さんはアロマオイルの全身マッサージや、氷水とお湯とで交互に刺激を与えるなど、献身的な看護を続けました。意識が戻ってからまもなく、早急にリハビ



りの開始を勧めたのも総子さんでした。

多以良さんの回復はめざましく、感覚を失っていた手足が動き、歩行器の訓練にたどり着くと、一ヶ月後には自分で歩行ができるようになりました。すべては選手として再びバンクに戻ることが目標のリハビリでした。多以良さんの脳が深刻なダメージを負っているという過酷な現実を知ったのは、退院した後でした。選手としての復帰が絶望的であることを医師から告げられた多以良さんは、「自分は何のために生きているんだろう」と、自暴自棄になりかんしゃくを起こすことが多くなりました。

そうした状況でも、ガーデニングやハイキングなど、自宅を拠点にできるリハビリの中で、粘土細工にヒントを得たのがパン作りでした。裕福とはいえない家庭で育った多以良さんは、学生時代には家庭を手助けするために家事全般を引き受けていました。掃除も料理も総子さんが舌を巻くほどで、交際中に送られた手作りのチーズケーキの味も絶品でした。

総子さんの薦めで通い始めたベーキングスクールで、多以良さんの目はとたんに輝き出しました。毎月オリジナルを完成させるという目標を持って、材料も自ら厳選しながら創作しました。食材探しの旅は心のリハビリにもなりました。リハビリのために作ったパンは友人や近隣の人たちからピートの注文が絶え間なく入り、テレビや新聞などのメディアに取り上げられると、家庭用のオープンで一つずつ丁寧に焼き上げる「天使のパン」に予約は殺到し、現在では8年半待ちです。多以良さんは大きなものを失った代わりに、別の大切なものに出会ったのでしょう。

事故から5年後の2010年、室内ローラーでトレーニングを開始しました。その年の5月には、初めて参加した日本障害者自転車競技大会で優勝に輝きました。憧れの競輪学校を卒業してちょうど10年目の年でした。その後も記録会などで自己ベストを更新しながら、パラリンピック出場を視野に入れ、高次脳機能障害という後遺症を抱えて、不自由な左足とともにトレーニングを続けています。

注文をした人にとって、待ちわびた「天使のパン」が届いた時どんなに嬉しいことでしょう。愛おしく少しずつそのパンを食べるのかもしれませんが。多以良さんは「相手の顔が見えないから、一生懸命想像しながら、僕はその人のために作るんです」と言われています。

最後にこうありました。『空に浮かんだ雲が、流れにまかせて形を変えていくように、逆らえない力を素直に受け止めることができたのなら、気がついた時には認めがたい困難さも乗り越えているのかもしれない』と。

一部活動の活躍

【剣道部】

- ◎ 阪神春季剣道大会(3/27) 男子準優勝 女子3位
- ◎ 戸田杯剣道大会(3/24) 男子優勝 女子2位
- ◎ 個人 男子2年優勝 羽方千隼 2位 清水元太 3位 生尾知輝 谷垣岬
1年優勝 古屋龍征
女子2年3位 窪田恵美子 1年2位 細川瑞月 3位 川原瑞稀



【水泳部】

- ◎ 尼崎市室内選手権水泳競技大会(3/25) 女子200mリレー2位 200mメドレーリレー2位
- ◎ 女子200m個人メドレー 1位 小宮紅葉 3位 上中眞依
- ◎ 女子100m自由形 2位 上中眞依
- ◎ 女子50mバタフライ 1位 上中眞依 3位 橋本亜莉沙
- ◎ 女子100m背泳ぎ 1位 小宮紅葉

